

平成26年3月期

決算説明資料

株式会社 沖縄銀行

【目次】

頁

I. 平成26年3月期 決算ダイジェスト

1. 損益の状況	単	1
2. 主要資産・負債の状況	単	2
3. 経費	単	5
4. 資産健全化の状況	単	6
5. 自己資本比率（国内基準）の状況	単・連	8
6. 業績予想	単・連	9

II. 平成26年3月期 決算の概況

1. 損益状況	単・連	10
2. 業務純益	単	12
3. 利鞘	単	12
4. 有価証券関係損益	単	13
5. 自己資本比率	単・連	13
6. ROE	単	14

III. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	単・連	15
2. 貸倒引当金の状況	単・連	16
3. リスク管理債権に対する保全状況	単・連	16
4. 金融再生法開示債権	単・連	17
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単・連	17
6. 引当率・保全率の状況	単・連	18
7. 自己査定結果及び債権分類額(率)の状況	単	19
8. 自己査定結果と開示債権との関係	単	20
9. 業種別貸出状況等	単	21
(1) 業種別貸出金	単	21
(2) 業種別リスク管理債権	単	21
(3) 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高等	単	22
(4) 生活密着型ローン残高	単	23
(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率	単	23
10. 信用保証協会保証付融資	単	23
11. 系列ノンバンク向け融資残高	単	23
12. 預金、貸出金の残高	単	23
13. 個人・法人預金の種類別内訳(平残)	単	24

IV. 業績予想等

1. 平成27年3月期通期の業績予想	単	24
2. 人員と店舗の状況	単	24
3. 保有株式について	単	25
4. 不良債権について	単	25
(1) 処理損失	単	25
(2) 残高	単	25
(3) 最終処理と新規発生	単	26
(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率	単	26
(5) 不良債権比率	単・連	26

I. 平成26年3月期 決算ダイジェスト

1. 損益の状況（単体）

○ 概況（前年度比較）

経常収益は、貸出金利息は減少したものの、株式等売却益の増加などにより、前年比3億45百万円増加の371億59百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益及び役員取引等利益が増加する一方で、経費の増加などにより、前年比1億38百万円減少の101億86百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益が増加したものの、与信費用の増加及びコア業務純益の減少などにより、前年比7億51百万円減少の85億62百万円となりました。また、当期純利益は、前年比8億31百万円減少の45億96百万円となりました。

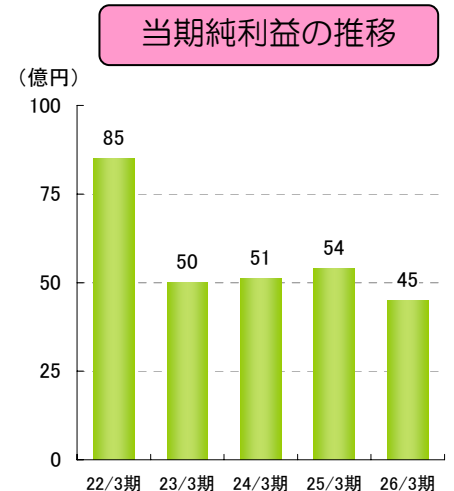
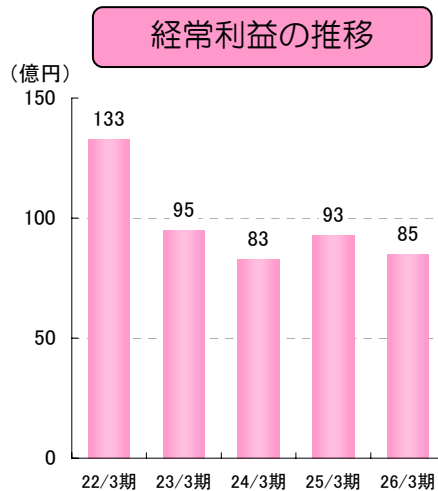
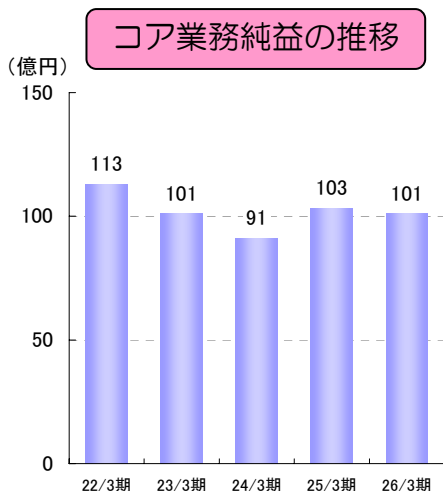
（単位：百万円）

科 目	No.	25/3期	26/3期	
				増減
経常収益	1	36,813	37,159	345
業務粗利益	2	30,284	30,068	△ 216
資金利益	3	26,989	27,357	367
役員取引等利益	4	2,401	2,586	184
うち信託勘定不良債権処理額	5	56	-	△ 56
その他業務利益	6	893	124	△ 768
うち国債等債券関係損益	7	723	△ 58	△ 782
経費（除く臨時処理分）	8	19,293	19,940	647
うち人件費	9	9,565	9,642	77
うち物件費	10	8,731	9,324	592
コア業務純益（A）	11	10,324	10,186	△ 138
一般貸倒引当金繰入額	12	△ 68	640	708
業務純益（B）	13	11,059	9,487	△ 1,572
臨時損益	14	△ 1,745	△ 925	820
うち償却債権取立益	15	173	145	△ 28
うち株式等関係損益	16	△ 549	1,032	1,581
うち不良債権処理額	17	1,641	2,222	580
経常利益	18	9,314	8,562	△ 751
特別損益	19	△ 8	△ 82	△ 73
税引前当期純利益	20	9,305	8,479	△ 825
法人税等合計	21	3,877	3,883	5
当期純利益	22	5,428	4,596	△ 831

（注）不良債権処理総額
【算式】No. (17+5)
26/3期 2,222百万円
25/3期 1,698百万円

《用語解説》
（A）コア業務純益
【算出】No. (13+12-7+5)
業務純益から特殊な変動要因を除いた、銀行本来の業務による収益力を表す。

（B）業務純益
【算出】No. (2-8-12)
一般企業の営業利益に相当する利益を表す。



2. 主要資産・負債の状況（単体）

（1）貸出金

○ 概況（前年度比較）

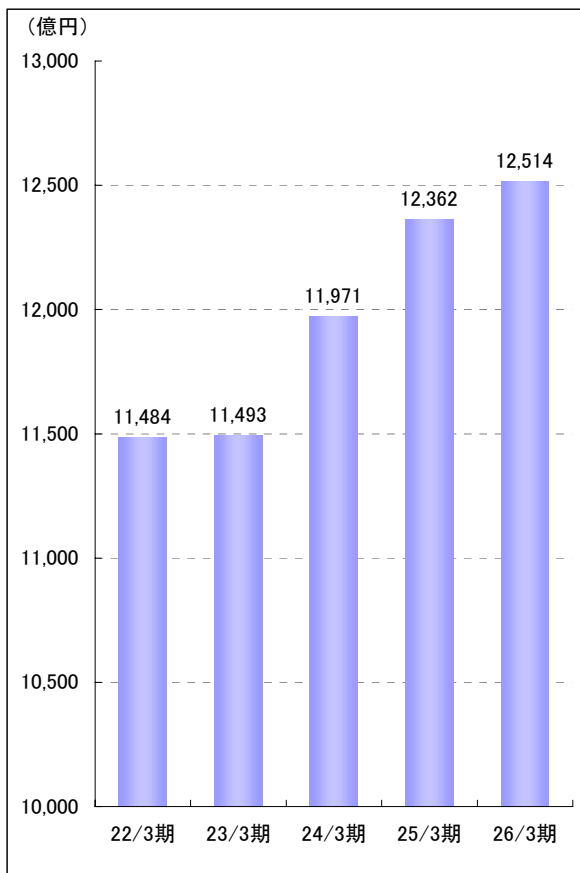
貸出金は、指定金融機関の変更などにより地公体向け貸出は減少したものの、生活密着型ローンの営業強化を図った結果、住宅ローンやアパートローンが好調に増加したほか、SR（ストロングリレーション）活動により取引先との関係強化に努めたことにより、事業性貸出も増加したことから、期末残高は銀行・信託勘定合計で前年比152億円増加の1兆2,514億円となりました。

（単位：億円、％）

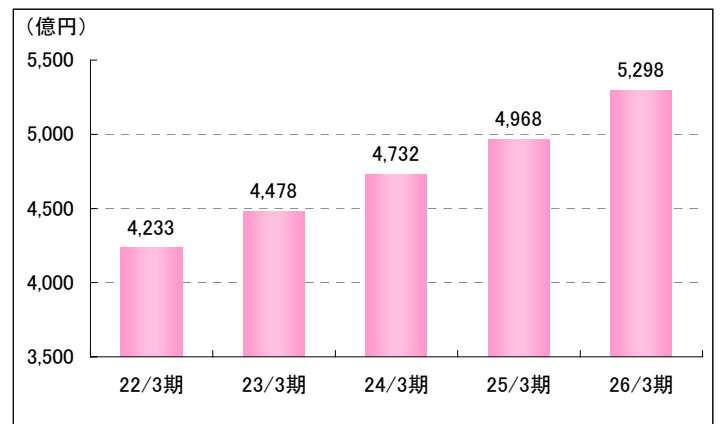
	25/3期	26/3期	
		増減額	増減率
貸出金（期末残高）	12,362	12,514	152 1.23
事業性貸出	6,118	6,232	114 1.86
生活密着型ローン	4,968	5,298	330 6.64
住宅ローン	4,333	4,646	312 7.21
国・地公体向け貸出	1,275	983	△ 292 △ 22.89
貸出金（平均残高）	11,547	12,020	472 4.09

（注）信託勘定を含んでおります。

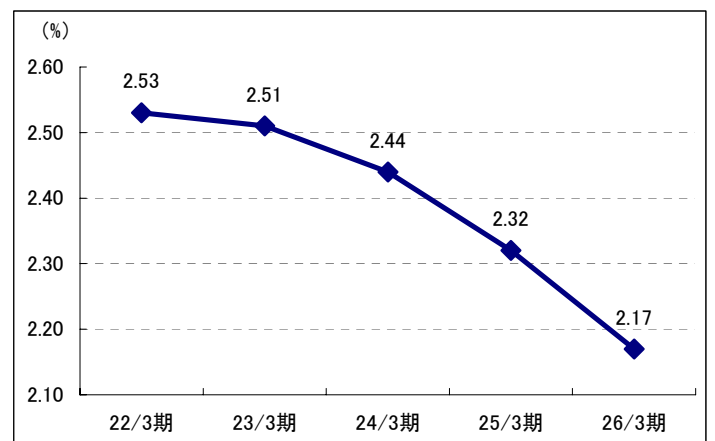
貸出金（期末残高）の推移



生活密着型ローン（期末残高）の推移



貸出金利回りの推移



（※）利回りには信託勘定を含んでおりません。

(2) 預金

○ 概況 (前年度比較)

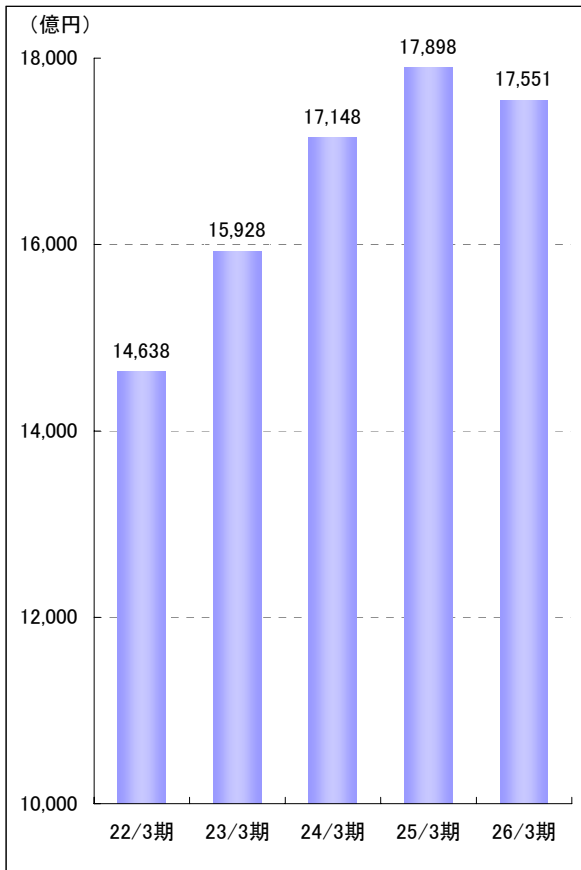
預金は、退職金、給与振込等の獲得強化や取引先従業員への営業強化により個人預金が順調に増加したほか、SR（ストロングリレーション）活動による取引先への反復訪問継続や決済口座利用促進を図ったことにより法人預金も順調に増加したものの、指定金融機関の変更などにより公金預金が減少したことから、期末残高は銀行・信託勘定合計で前年比347億円減少の1兆7,551億円となりました。

(単位：億円、%)

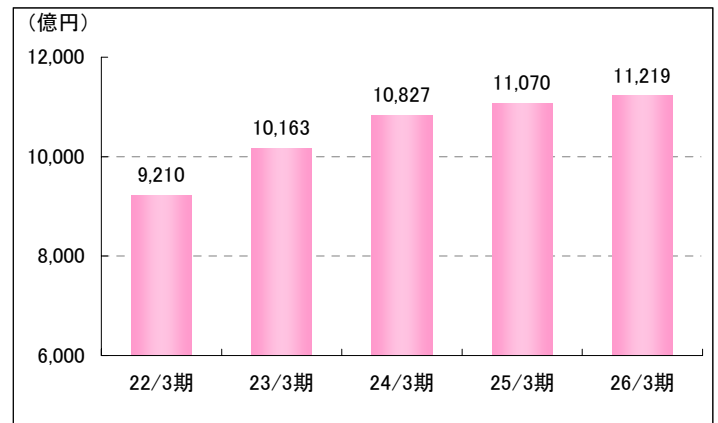
	25/3期	26/3期		
		増減額	増減率	
預金 (期末残高)	17,898	17,551	△ 347	△ 1.93
個人	11,070	11,219	149	1.34
法人	4,841	4,967	126	2.60
金融	231	185	△ 45	△ 19.75
公金	1,755	1,178	△ 576	△ 32.84
預金 (平均残高)	17,065	17,456	391	2.29

(注) 信託勘定を含んでおります。

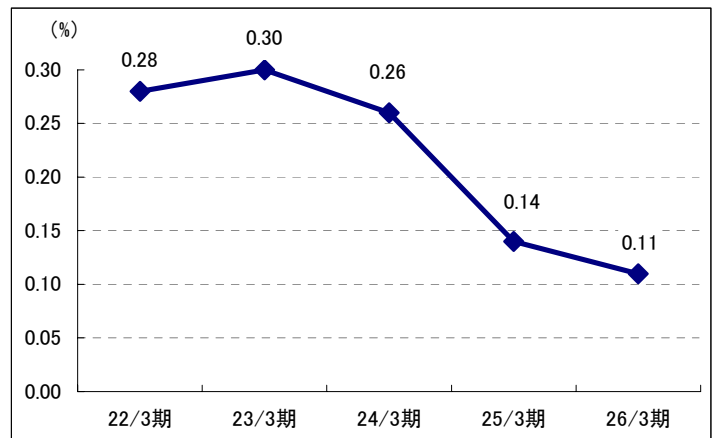
預金 (期末残高) の推移



個人預金 (期末残高) の推移



預金利回りの推移



(※) 利回りには信託勘定を含んでおりません。

(3) 有価証券

○ 概況 (前年度比較)

有価証券は、国債、地方債など公共債を中心に、市場動向を睨みながら資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、期末残高は前年比228億円減少の5,773億円となりました。

また、有価証券全体の評価損益は、前年比1億円増加の134億円となりました。

【期末残高】

(単位：億円、%)

	25/3期末	26/3期末	
		増減額	増減率
有価証券	6,002	5,773	△ 228 △ 3.81
債券	5,541	5,299	△ 242 △ 4.37
株式	209	215	6 3.11
その他	251	257	6 2.74

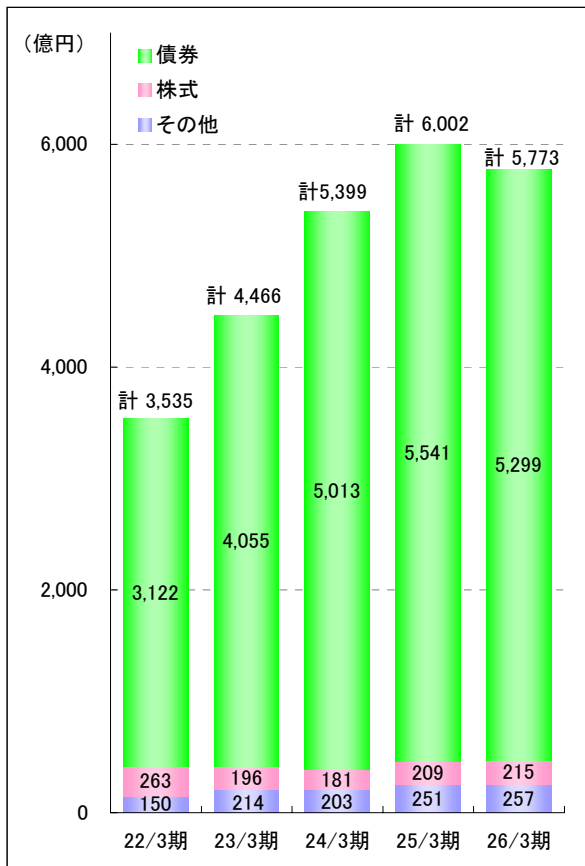
【評価損益】

(単位：億円、%)

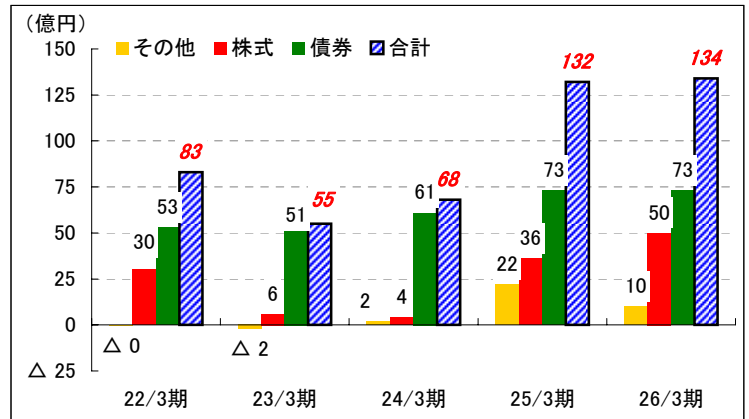
	25/3期末	26/3期末	
		増減額	増減率
有価証券	132	134	1 1.23
債券	73	73	△ 0 △ 0.63
株式	36	50	14 39.32
その他	22	10	△ 12 △ 53.24

(注)その他には、外国証券、投資信託が含まれております。

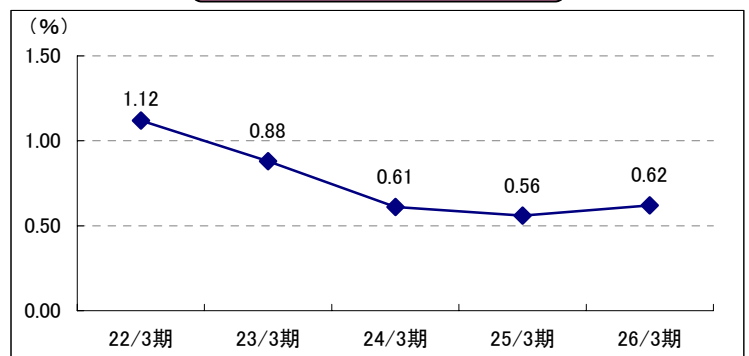
有価証券残高の推移



評価損益の推移



有価証券利回りの推移



(4) 預かり資産

○ 概況 (前年度比較)

投資信託は軽減税率終了に伴う利益確定の売却などにより減少し、国債も償還により減少したものの、個人年金保険等が取扱商品の追加により増加したことから、全体では、前年比113億円増加の1,507億円となりました。

【期末残高】

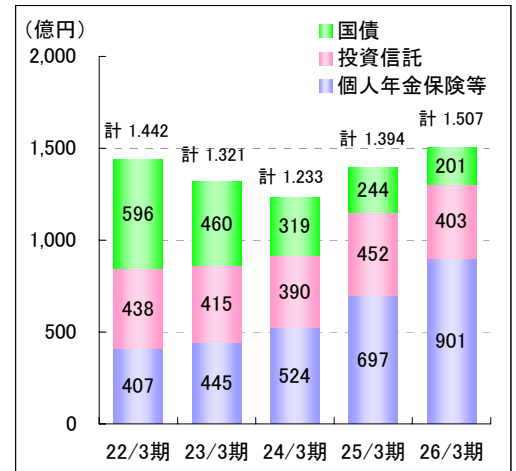
(単位：億円)

	25/3期末	26/3期末	
			増減
預かり資産	1,394	1,507	113
国債	244	201	△ 42
投資信託	452	403	△ 48
個人年金保険等	697	901	204

《預かり資産》

お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。

預かり資産の推移



3. 経費 (単体)

○ 概況 (前年度比較)

人件費は、時間外勤務手当や臨時雇用費の増加などにより、前年比77百万円増加の96億42百万円となりました。

物件費は、事務委託費や減価償却費の増加などにより、前年比5億92百万円増加の93億24百万円となりました。

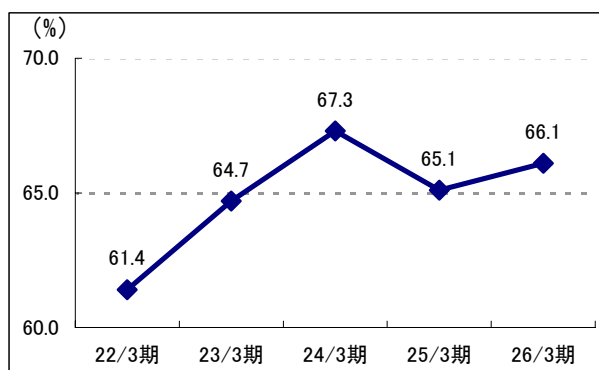
経費効率を示すコアOHRは、経費の増加率がコア業務粗利益の増加率を上回ったことにより、前年比1.0ポイント上昇の66.1%となりました。 ※コアOHR：経費÷コア業務粗利益 (コア業務純益+経費)

【経費の内訳等】

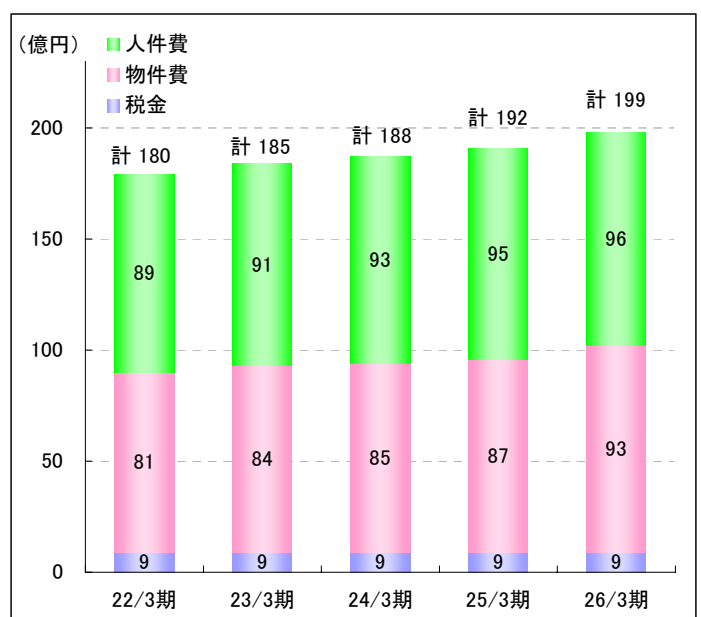
(単位：百万円、%)

	25/3期	26/3期	
			増減
経費	19,293	19,940	647
人件費	9,565	9,642	77
物件費	8,731	9,324	592
税金	996	974	△ 22
コア業務粗利益	29,618	30,126	508
コアOHR	65.1	66.1	1.0

コアOHRの推移



経費の推移



4. 資産健全化の状況（単体）

(1) 与信費用

○ 概況（前年度比較）

一般貸倒引当金繰入額が正常先及び要留意先の実績率上昇により、前年比7億8百万円増加の6億40百万円となったことや、不良債権処理額がランクダウンの増加による貸出金償却及び信託元本補填引当金繰入額の増加により、前年比5億23百万円増加の22億22百万円となったことから、与信費用全体では前年比12億31百万円増加の28億62百万円となりました。

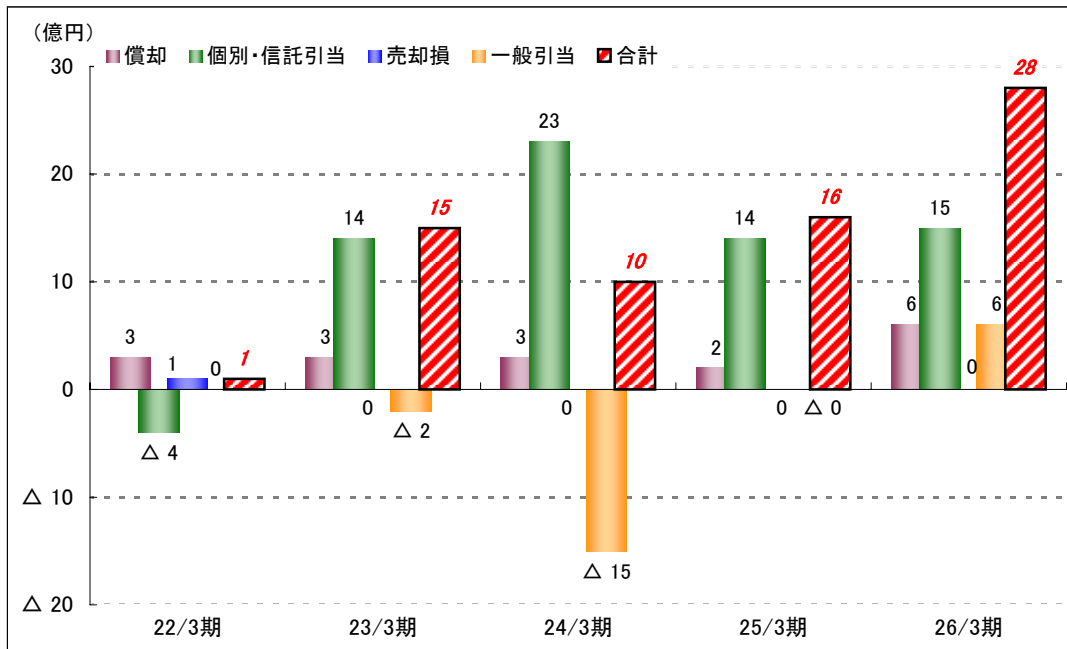
（単位：百万円）

	25/3期	26/3期	
			増減
与信費用	1,630	2,862	1,231
一般貸倒引当金繰入額	△ 68	640	708
不良債権処理額	1,698	2,222	523
個別貸倒引当金繰入額	1,443	1,391	△ 52
信託元本補填引当金繰入額	△ 24	171	196
貸出金償却	279	659	379

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 与信費用とは、貸出金等の債権保全に係る費用（一般貸倒引当金繰入額と不良債権処理額の合計）を指します。

与信費用の推移



(2) 開示債権

○ 概況 (前年度比較)

金融再生法開示債権残高は、前年比12億円増加の217億円、開示債権比率は前年比0.08ポイント上昇の1.72%となりました。

開示債権残高は前年度より増加しましたが、開示債権比率は低い水準となっており、銀行の資産の健全性に問題はございません。

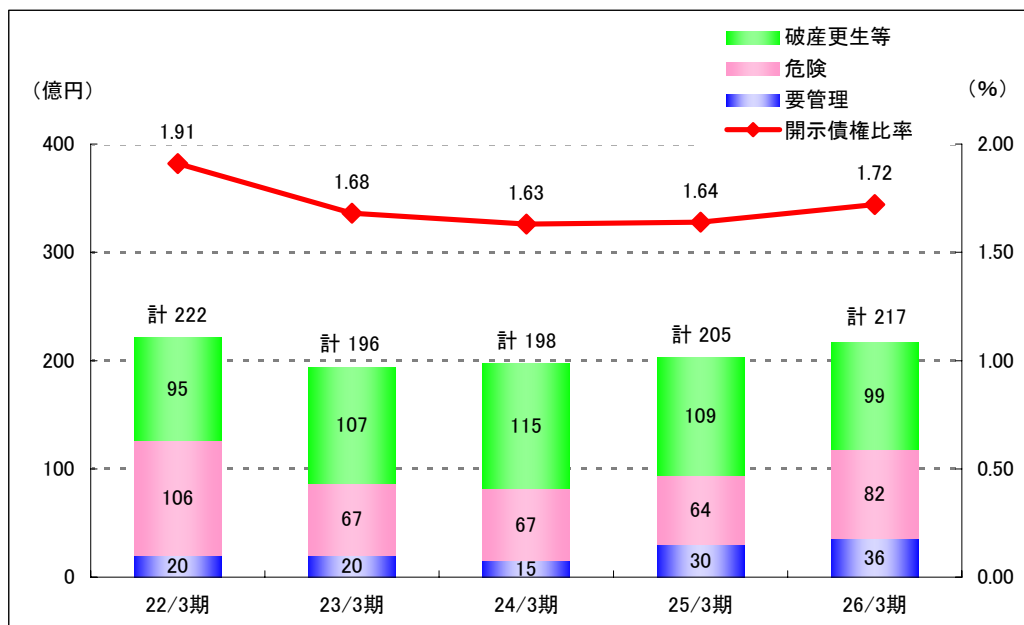
(金融再生法基準)

(単位：億円、%)

	25/3期末	26/3期末		(参考)
			増減	部分直接償却 実施前
開示債権 (a)	205	217	12	250
破産更生等債権	109	99	△ 10	131
危険債権	64	82	17	82
要管理債権	30	36	5	36
正常債権	12,275	12,406	131	12,406
総与信額 (b)	12,480	12,624	144	12,656
開示債権比率 a/b	1.64	1.72	0.08	1.97

(注)信託勘定を含んでおります。

開示債権の推移



5. 自己資本比率（国内基準）の状況

○ 概況（前年度比較、単体）

自己資本比率は、自己資本比率告示が改正され、平成26年3月末から新基準（バーゼルⅢ）に基づき算出しております。

新基準に基づく自己資本比率は11.66%となり、国内基準の4%を大きく上回っております。

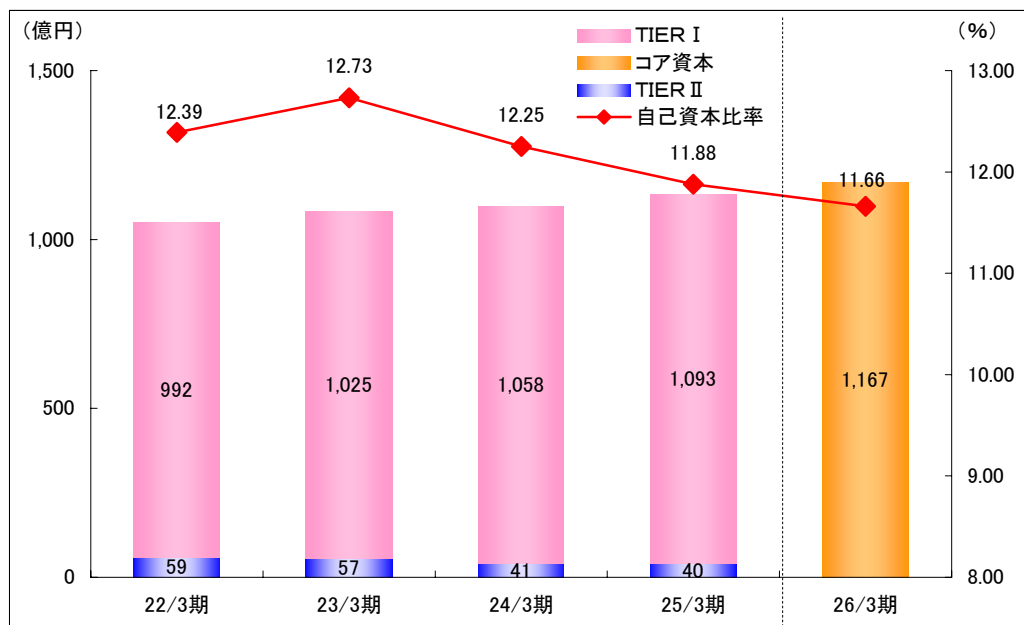
（単位：億円、%）

バーゼルⅡ基準	25/3期末	
	単体	連結
自己資本額(a)	1,113	1,214
Tier I (b)	1,093	1,183
Tier II	40	51
控除項目(Δ)	20	20
リスクアセット(c)	9,371	9,606
自己資本比率 a/c	11.88	12.64
Tier I 比率 b/c	11.66	12.31

（単位：億円、%）

バーゼルⅢ基準	26/3期末	
	単体	連結
自己(コア)資本額(a)	1,167	1,279
基礎項目	1,167	1,279
調整項目(Δ)	-	-
リスクアセット(b)	10,006	10,238
自己資本比率 a/b	11.66	12.49

自己資本比率（単体）の推移



旧基準

新基準

6. 業績予想

【単体通期の損益予想】

○ 経常収益

株式等売却益の減少などにより、経常収益は前年比7億円減少の364億円を見込んでおります。

○ 業務純益

経費は増加するものの、一般貸倒引当金繰入額の減少及び資金利益の増加などにより、業務純益は前年比10億円増加の105億円を見込んでおります。

○ 経常利益

株式等関係損益は減少するものの、業務純益の増加及び与信費用の減少などにより、経常利益は前年比6億円増加の92億円を見込んでおります。

○ 当期純利益

以上の結果、最終の当期純利益は前年比11億円増加の57億円を見込んでおります。

【単体】

(単位：億円)

	26/9期 予想	27/3期予想	
			前期比
経常収益	182	364	△ 7
コア業務純益	49	102	0
業務純益	51	105	10
経常利益	43	92	6
当期(中間)純利益	27	57	11
不良債権処理額	9	17	△ 4

※不良債権処理額は、信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位：億円)

	26/9期 予想	27/3期予想	
			前期比
経常収益	242	487	△ 9
経常利益	49	104	0
当期(中間)純利益	28	60	7

【開示債権比率(金融再生法基準)】

26/9期末予想		27/3期末予想	
単体	連結	単体	連結
1%台	1%台	1%台	1%台

【自己資本比率】

26/9期末予想		27/3期末予想	
単体	連結	単体	連結
11%台	12%台	11%台	12%台

※業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。よって、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

II. 平成26年3月期 決算の概況

1. 損益状況

【単体】

(単位:百万円)

		26年3月期	25年3月期比	25年3月期
業	務粗利益	30,068	△ 216	30,284
	国内業務粗利益	29,466	△ 169	29,635
	資金利益	27,052	389	26,662
	役務取引等利益	2,537	195	2,341
	うち信託報酬	488	△ 30	519
	信託勘定不良債権処理額①	-	△ 56	56
	その他業務利益	△ 122	△ 754	632
	国際業務粗利益	601	△ 47	648
	資金利益	305	△ 22	327
	役務取引等利益	48	△ 10	59
	その他業務利益	247	△ 14	261
経	費(除く臨時処理分)	19,940	647	19,293
	人件費	9,642	77	9,565
	物件費	9,324	592	8,731
	税金	974	△ 22	996
業	務純益(一般貸引繰入前)	10,127	△ 863	10,991
	除く国債等債券関係損益(5勘定戻)	10,186	△ 81	10,267
	一般貸倒引当金繰入額②	640	708	△ 68
業	務純益	9,487	△ 1,572	11,059
	うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	△ 58	△ 782	723
臨	時損益	△ 925	820	△ 1,745
	うち償却債権取立益	145	△ 28	173
	うち株式等関係損益(3勘定戻)	1,032	1,581	△ 549
	うち不良債権処理損失③	2,222	555	1,666
	個別貸倒引当金繰入額	1,391	△ 52	1,443
	貸出金償却	659	436	223
	信託元本補填引当金繰入額	171	171	-
	うち信託元本補填引当金戻入益④	-	△ 24	24
経	常利益	8,562	△ 751	9,314
特	別損益	△ 82	△ 73	△ 8
	固定資産処分損益	△ 13	△ 5	△ 8
	減損損失	68	68	0
税	引前当期純利益	8,479	△ 825	9,305
法	人税、住民税及び事業税	3,555	△ 744	4,300
法	人税等調整額	328	750	△ 422
法	人税等合計	3,883	5	3,877
当	期純利益	4,596	△ 831	5,428
不良債権処理額(①+③-④)		2,222	523	1,698
与信費用(①+②+③-④)		2,862	1,231	1,630

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(単位:百万円)

	26年3月期	25年3月期比	25年3月期
連結業務粗利益	32,850	△ 810	33,660
資金利益	28,090	358	27,731
信託報酬	488	△ 30	519
役務取引等利益	2,626	12	2,613
その他業務利益	1,645	△ 1,150	2,796
営業経費	20,815	637	20,178
貸倒償却引当費用	3,012	591	2,420
一般貸倒引当金繰入額	595	741	△ 145
個別貸倒引当金繰入額	1,173	△ 657	1,831
信託元本補填引当金繰入額	171	171	-
貸出金償却	1,007	372	634
債権売却損	64	△ 36	100
株式等関係損益	1,032	1,581	△ 549
その他	333	△ 89	422
経常利益	10,387	△ 547	10,934
特別損益	△ 81	△ 69	△ 11
固定資産処分損益	△ 18	△ 6	△ 11
減損損失	63	63	0
税金等調整前当期純利益	10,305	△ 616	10,922
法人税、住民税及び事業税	4,087	△ 668	4,755
法人税等調整額	476	689	△ 212
法人税等合計	4,564	21	4,542
少数株主損益調整前当期純利益	5,741	△ 638	6,379
少数株主利益	457	31	426
当期純利益	5,284	△ 669	5,953

(注) 連結業務粗利益=資金利益+金銭の信託運用見合費用[金銭の信託に係る資金調達費用]+信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	11,469	△ 2,198	13,667
--------	--------	---------	--------

(注) 連結業務粗利益-営業経費(除く臨時処理分)-一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	7	△ 3	10
持分法適用会社数	0	0	0

2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	26年3月期	25年3月期	
		25年3月期比	25年3月期
業務純益(一般貸引繰入前)	10,127	△ 863	10,991
職員一人当たり(千円)	9,198	△ 811	10,010
業務純益	9,487	△ 1,572	11,059
職員一人当たり(千円)	8,616	△ 1,455	10,072

(注) 職員数は期中平均人員(出向者除く)を使用しております。

3. 利鞘【単体】

(1) 総合

(単位:%)

	26年3月期	25年3月期	
		25年3月期比	25年3月期
資金運用利回(A)	1.63	△ 0.06	1.69
貸出金利回	2.17	△ 0.15	2.32
有価証券利回	0.62	0.06	0.56
資金調達原価(B)	1.27	△ 0.04	1.31
預金等利回	0.11	△ 0.03	0.14
外部負債利回	0.10	0.00	0.10
総資金利鞘(A)-(B)	0.36	△ 0.02	0.38

(注) 「外部負債」=コールマネー+売渡手形+借入金

(2) 国内部門

(単位:%)

	26年3月期	25年3月期	
		25年3月期比	25年3月期
資金運用利回(A)	1.64	△ 0.05	1.69
貸出金利回	2.17	△ 0.15	2.32
有価証券利回	0.59	0.07	0.52
資金調達原価(B)	1.23	△ 0.04	1.27
預金等利回	0.11	△ 0.03	0.14
外部負債利回	0.10	0.00	0.10
総資金利鞘(A)-(B)	0.41	△ 0.01	0.42

(注) 「外部負債」=コールマネー+売渡手形+借入金

4. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

	26年3月期	25年3月期比	25年3月期
	国債等債券関係損益(5勘定戻)	△ 58	△ 782
売却益	493	△ 273	766
償還益	-	-	-
売却損	552	508	43
償還損	-	-	-
償却	-	-	-

	26年3月期	25年3月期比	25年3月期
	株式等関係損益(3勘定戻)	1,032	1,581
売却益	1,074	1,012	61
売却損	30	△ 544	575
償却	12	△ 23	35

5. 自己資本比率

(1) 自己資本比率(国内基準)【単体】

(単位:百万円,%)

バーゼルⅢ基準	26年3月末
①自己資本比率	11.66
②コア資本に係る基礎項目	116,768
うち土地の再評価差額の45%	1,179
うち一般貸倒引当金	3,549
うち負債性資本調達手段等	-
③コア資本に係る調整項目	-
④自己資本 ②-③	116,768
⑤リスクアセット	1,000,667

(単位:百万円,%)

バーゼルⅡ基準	25年3月末	25年9月末
①自己資本比率	11.88	11.94
②Tier I	109,316	110,877
③Tier II	4,088	4,646
土地の再評価差額の45%	1,179	1,179
一般貸倒引当金	2,908	3,467
負債性資本調達手段等	-	-
④控除項目	2,042	1,042
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	2,042	1,042
⑤自己資本 ②+③-④	111,361	114,480
⑥リスクアセット	937,123	958,759

(2) 自己資本比率(国内基準)【連結】

(単位:百万円,%)

バーゼルⅢ基準	26年3月末
①自己資本比率	12.49
②コア資本に係る基礎項目	127,942
うち土地の再評価差額の45%	1,179
うち一般貸倒引当金	4,564
うち負債性資本調達手段等	-
③コア資本に係る調整項目	-
④自己資本 ②-③	127,942
⑤リスクアセット	1,023,896

(単位:百万円,%)

バーゼルⅡ基準	25年3月末	25年9月末
①自己資本比率	12.64	12.73
②Tier I	118,330	120,468
③Tier II	5,148	5,664
土地の再評価差額の45%	1,179	1,179
一般貸倒引当金	3,969	4,485
負債性資本調達手段等	-	-
④控除項目	2,042	1,042
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	2,042	1,042
⑤自己資本 ②+③-④	121,436	125,090
⑥リスクアセット	960,613	982,367

6. ROE【単体】

(単位:%)

	26年3月期	25年3月期比	
		25年3月期	25年3月期
業務純益ベース	7.82	△ 1.72	9.54
コア業務純益ベース	8.40	△ 0.51	8.91
当期純利益ベース	3.79	△ 0.89	4.68

(算式)

$$\frac{\text{業務純益(コア業務純益、当期純利益)}}{(\text{期首純資産の部合計} + \text{期末純資産の部合計}) \div 2} \times 100$$

※ コア業務純益＝業務純益－債券5勘定戻＋一般貸倒引当金繰入額＋信託勘定償却額等

※ 純資産の部合計は、新株予約権を除いております。

(参考)

ROE (株主資本ベース)【単体】

(単位:%)

	26年3月期	25年3月期比	
		25年3月期	25年3月期
業務純益ベース	8.53	△ 1.69	10.22
コア業務純益ベース	9.16	△ 0.38	9.54
当期純利益ベース	4.13	△ 0.89	5.02

(算式)

$$\frac{\text{業務純益(コア業務純益、当期純利益)}}{(\text{期首株主資本合計} + \text{期末株主資本合計}) \div 2} \times 100$$

Ⅲ. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施（前・**後**）
未収利息不計上基準（自己査定基準）

【単体】

(単位:百万円)

	26年3月末	25年		25年3月末	25年9月末
		3月末比	9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	1,835	828	229	1,007	1,606
延滞債権額	16,218	△ 62	506	16,280	15,712
3ヶ月以上延滞債権額	305	△ 45	△ 134	350	439
貸出条件緩和債権額	3,309	581	△ 791	2,728	4,101
合 計	21,669	1,302	△ 190	20,366	21,859

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

貸出金残高(末残)	1,251,418	15,215	34,550	1,236,202	1,216,867
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比					
破綻先債権	0.14	0.06	0.01	0.08	0.13
延滞債権	1.29	△ 0.02	0.00	1.31	1.29
3ヶ月以上延滞債権	0.02	0.00	△ 0.01	0.02	0.03
貸出条件緩和債権	0.26	0.04	△ 0.07	0.22	0.33
合 計	1.73	0.09	△ 0.06	1.64	1.79

(注)信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円)

	26年3月末	25年		25年3月末	25年9月末
		3月末比	9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	1,897	874	214	1,022	1,683
延滞債権額	16,765	△ 433	520	17,199	16,245
3ヶ月以上延滞債権額	305	△ 45	△ 134	350	439
貸出条件緩和債権額	3,309	581	△ 791	2,728	4,101
合 計	22,277	977	△ 191	21,300	22,469

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

貸出金残高(末残)	1,241,397	13,968	33,983	1,227,429	1,207,413
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比					
破綻先債権	0.15	0.07	0.02	0.08	0.13
延滞債権	1.35	△ 0.05	0.01	1.40	1.34
3ヶ月以上延滞債権	0.02	0.00	△ 0.01	0.02	0.03
貸出条件緩和債権	0.26	0.04	△ 0.07	0.22	0.33
合 計	1.79	0.06	△ 0.07	1.73	1.86

(注)信託勘定を含んでおります。

2. 貸倒引当金の状況

【単体】

(単位:百万円)

	26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
貸倒引当金	9,999	1,266	504	8,733	9,494
一般貸倒引当金	3,549	640	81	2,908	3,467
個別貸倒引当金	6,450	625	423	5,824	6,027

信託元本補填引当金	255	171	61	84	194
-----------	-----	-----	----	----	-----

【連結】

(単位:百万円)

	26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
貸倒引当金	12,995	718	384	12,277	12,611
一般貸倒引当金	4,564	595	79	3,969	4,485
個別貸倒引当金	8,431	122	305	8,308	8,125

信託元本補填引当金	255	171	61	84	194
-----------	-----	-----	----	----	-----

3. リスク管理債権に対する保全状況

【単体】

(単位:百万円, %)

	26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
リスク管理債権額 (A)	21,669	1,302	△ 190	20,366	21,859
保全額	19,975	1,519	108	18,455	19,867
貸倒引当金 (B)	6,894	834	247	6,060	6,647
担保・保証等 (C)	13,080	685	△ 138	12,395	13,219
保全率 (B+C)/(A)	92.18	1.57	1.30	90.61	90.88
貸倒引当金 (B/A)	31.81	2.06	1.41	29.75	30.40
担保・保証等 (C/A)	60.36	△ 0.50	△ 0.11	60.86	60.47

(注)信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円, %)

	26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
リスク管理債権額 (A)	22,277	977	△ 191	21,300	22,469
保全額	20,570	1,201	109	19,369	20,461
貸倒引当金 (B)	7,237	648	234	6,589	7,003
担保・保証等 (C)	13,333	553	△ 124	12,779	13,458
保全率 (B+C)/(A)	92.33	1.40	1.27	90.93	91.06
貸倒引当金 (B/A)	32.48	1.55	1.32	30.93	31.16
担保・保証等 (C/A)	59.84	△ 0.15	△ 0.05	59.99	59.89

(注)信託勘定を含んでおります。

4. 金融再生法開示債権

部分直接償却の実施 (有)・無)

【単体】

(単位:百万円,%)

	26年3月末			25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,939	△ 1,026	△ 233	10,965	10,172
危険債権	8,242	1,786	977	6,456	7,265
要管理債権	3,614	536	△ 926	3,078	4,540
合計 (A)	21,797	1,296	△ 182	20,500	21,979
正常債権	1,240,619	13,113	34,222	1,227,506	1,206,397
総与信残高 (B)	1,262,416	14,409	34,039	1,248,007	1,228,377
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.72	0.08	△ 0.06	1.64	1.78
部分直接償却額	3,207	325	328	2,882	2,879

(注)信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円,%)

	26年3月末			25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,520	△ 1,339	△ 230	11,860	10,751
危険債権	8,270	1,775	972	6,495	7,297
要管理債権	3,614	536	△ 926	3,078	4,540
合計 (A)	22,405	971	△ 184	21,434	22,590
正常債権	1,230,005	12,188	33,655	1,217,816	1,196,349
総与信残高 (B)	1,252,411	13,160	33,471	1,239,251	1,218,939
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.78	0.06	△ 0.07	1.72	1.85
部分直接償却額	4,099	162	148	3,937	3,950

(注)信託勘定を含んでおります。

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位:百万円)

	26年3月末			25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
保全額 (C)	20,079	1,539	129	18,539	19,949
貸倒引当金	6,984	851	266	6,132	6,717
担保・保証等	13,095	687	△ 136	12,407	13,232

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保全率 (C)/(A)	92.12	1.69	1.36	90.43	90.76
-------------	-------	------	------	-------	-------

【連結】

(単位:百万円)

	26年3月末			25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
保全額 (C)	20,674	1,221	130	19,453	20,543
貸倒引当金	7,327	665	253	6,661	7,073
担保・保証等	13,347	555	△ 122	12,791	13,470

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保全率 (C)/(A)	92.27	1.52	1.33	90.75	90.94
-------------	-------	------	------	-------	-------

6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分による引当率、保全率の状況

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況 【単体】

(単位:百万円,%)

	26年3月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総与信額 (A)	9,939	8,242	3,614	21,797
担保等の保全額 (B)	5,336	5,613	2,145	13,095
未保全額 (C)=(A)-(B)	4,602	2,629	1,469	8,701
引当額 (D)	4,602	2,065	316	6,984
引当率 (D)/(C)	100.00	78.55	21.51	80.26
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	93.15	68.09	92.12

(注)信託勘定を含んでおります。

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況 【単体】

(単位:百万円,%)

	26年3月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合 計
総与信額 (A)	1,842	8,097	8,242	18,182
担保等の保全額 (B)	1,485	3,851	5,613	10,949
未保全額 (C)=(A)-(B)	356	4,245	2,629	7,232
引当額 (D)	356	4,245	2,065	6,668
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	78.55	92.20
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	93.15	96.89

(注)信託勘定を含んでおります。

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況 【連結】

(単位:百万円,%)

	26年3月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総与信額 (A)	10,520	8,270	3,614	22,405
担保等の保全額 (B)	5,589	5,613	2,145	13,347
未保全額 (C)=(A)-(B)	4,931	2,656	1,469	9,058
引当額 (D)	4,931	2,079	316	7,327
引当率 (D)/(C)	100.00	78.25	21.51	80.88
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	93.01	68.09	92.27

(注)信託勘定を含んでおります。

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【連結】

(単位:百万円,%)

	26年3月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合計
総与信額 (A)	1,903	8,617	8,270	18,791
担保等の保全額 (B)	1,532	4,056	5,613	11,202
未保全額 (C)=(A)-(B)	371	4,560	2,656	7,588
引当額 (D)	371	4,560	2,079	7,011
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	78.25	92.38
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	93.01	96.92

(注)信託勘定を含んでおります。

7. 自己査定結果及び債権分類額(率)の状況【単体】

(単位:百万円,%)

	26年3月末		25年3月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	1,262,416	100.00	1,248,007	100.00
非分類額	1,129,663	89.48	1,110,483	88.98
分類額合計	132,752	10.51	137,524	11.01
Ⅱ分類	132,256	10.47	136,918	10.97
Ⅲ分類	496	0.03	605	0.04
Ⅳ分類	-	-	-	-

(注) 総与信残高・・・貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返

分類額は個別貸倒引当金控除後の残高であります。

非分類・・・Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

Ⅱ分類・・・回収について通常の度合を超える危険を含むと認められる資産。

Ⅲ分類・・・最終の回収又は価値について重大な懸念が存在し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

Ⅳ分類・・・回収不能又は無価値と判定される資産。

自己査定区分	償却・引当基準
破綻先債権	担保・保証等で保全されていない債権額の100%を個別貸倒引当金として計上するか、又は直接償却する。
実質破綻先債権	
破綻懸念先債権	貸倒実績率に基づく予想損失率を乗じて算定した予想損失額に相当する額を個別貸倒引当金として計上する。
要管理先債権	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を一般貸倒引当金として計上する。
その他要注意先債権	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を一般貸倒引当金として計上する。
正常先債権	

但し、DCF先、DDS先については、以下の償却・引当基準を採用する。

DCF先	対象先の将来キャッシュ・フローの割引現在価値を見積り、当該額を対象債権残高から控除した金額を一般貸倒引当金として計上する。
DDS先	当該債務者に対する金銭債権全体について、優先・劣後の関係を考慮せずに予想損失率を用いて計上する。又は、資本的劣後ローンの回収可能見込額をゼロと算定し、取得原価又は償却原価と同額を貸倒見込額として計上する。

8. 自己査定結果と開示債権との関係 【単体】

(単位:百万円)

自己査定結果 (債務者区分) 対 象 : 総 与 信					金融再生法 開示債権 対 象 : 総 与 信	リスク 管理債権 対 象 : 貸 出 金	引当金	保全率 (引当率)
債務者区分 (償却後)	分 類							
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破 綻 先 1,842	引当・担保・保証 等による保全部分 541	1,301	全額 引当	償却 引当	破産更生債権 及びこれらに 進ずる債権 9,939 保全率 : 100.00%	破綻先債権 1,835	356	100.00%
実質破綻先 8,097	引当・担保・保証 等による保全部分 5,021	3,075						
破綻懸念先 8,242	引当・担保・保証 等による保全部分 5,092	2,653	必要額 を引当 496		危険債権 8,242 保全率 : 93.15%		2,065	93.15% (78.55)
要 注 意 先	要管理先 4,746	担保 : 3,187 信用 : 1,558 1,006	貸倒実績率に基 づく3年間の予 想損失額を引 当。資本的劣後 ローン(DDS) は全額引当。		要管理債権 3,614 保全率 : 68.09%	3ヶ月以上 延滞債権 305	399	75.57% (25.62)
	要管理先 以外の 要注意先 156,573	35,086		121,486	小計 21,797 全体の保全率 92.12%	貸出条件 緩和債権 3,309		
正 常 先 1,082,915	1,082,915		貸倒実績率に 基づく1年間 の予想損失額 を引当。		正常債権 1,240,619		128	
合 計 1,262,416	1,129,663	132,256	496	—	1,262,416	1,251,418	10,227	92.48% (80.39)

(注)信託勘定を含んでおります。

9. 業種別貸出状況等 【単体】

(1) 業種別貸出金 【単体】

(単位:百万円)

	26年3月末			25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	1,251,418	15,215	34,550	1,236,202	1,216,867
製 造 業	36,680	△ 1,238	2,837	37,919	33,843
農 業 , 林 業	592	98	27	493	564
漁 業	535	6	5	529	529
鉱業,採石業,砂利採取業	1,978	406	694	1,572	1,284
建 設 業	44,740	△ 2,582	2,268	47,322	42,471
電気・ガス・熱供給・水道業	3,535	950	△ 203	2,585	3,739
情 報 通 信 業	7,237	△ 753	△ 118	7,991	7,356
運 輸 業 , 郵 便 業	14,828	△ 183	742	15,011	14,085
卸 売 業 , 小 売 業	114,893	△ 813	△ 652	115,706	115,546
金 融 業 , 保 険 業	25,021	2,913	840	22,107	24,180
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	294,856	32,887	17,824	261,969	277,031
各 種 サ ー ビ ス 業	129,550	△ 7,693	△ 3,394	137,244	132,945
地 方 公 共 団 体	98,356	△ 28,955	761	127,311	97,594
そ の 他	478,610	20,171	12,916	458,438	465,694

(注) 信託勘定を含んでおります。

(2) 業種別リスク管理債権 【単体】

(単位:百万円)

	26年3月末			25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	21,669	1,302	△ 190	20,366	21,859
製 造 業	1,214	△ 437	△ 269	1,651	1,483
農 業 , 林 業	3	△ 19	△ 19	22	22
漁 業	506	△ 4	△ 4	510	510
鉱業,採石業,砂利採取業	98	△ 4	△ 39	102	137
建 設 業	1,807	354	675	1,453	1,132
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-
情 報 通 信 業	661	202	3	459	657
運 輸 業 , 郵 便 業	310	214	216	96	94
卸 売 業 , 小 売 業	4,474	130	△ 268	4,343	4,742
金 融 業 , 保 険 業	9	7	0	2	10
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	3,338	190	△ 154	3,148	3,492
各 種 サ ー ビ ス 業	3,899	753	△ 324	3,146	4,223
地 方 公 共 団 体	-	-	-	-	-
そ の 他	5,344	△ 85	△ 5	5,429	5,350

(注) 信託勘定を含んでおります。

(3) 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高、不良債権残高

(単位:百万円)

		リスク管理債権ベース				
		総貸出残高	3ヶ月以上延滞先	貸出条件緩和先	延滞先	破綻先
卸売・小売業	25年3月末	115,706	24	710	3,607	2
	25年9月末	115,546	51	729	3,103	858
	26年3月末	114,893	9	86	4,274	104
建設業	25年3月末	47,322	8	22	1,376	45
	25年9月末	42,471	-	115	1,014	2
	26年3月末	44,740	-	116	1,141	549
不動産業	25年3月末	238,746	-	402	2,599	36
	25年9月末	254,214	100	359	2,938	9
	26年3月末	271,659	-	362	2,646	248
その他金融	25年3月末	7,258	-	-	-	-
	25年9月末	8,026	-	-	-	-
	26年3月末	8,911	-	-	-	-

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

		金融再生法開示債権ベース			
		総与信残高	要管理債権	危険債権	破産更生等債権
卸売・小売業	25年3月末	119,564	734	1,072	2,544
	25年9月末	119,152	781	1,033	2,930
	26年3月末	118,433	95	2,243	2,153
建設業	25年3月末	48,451	30	656	767
	25年9月末	43,422	115	781	235
	26年3月末	45,571	116	875	819
不動産業	25年3月末	240,680	402	806	1,941
	25年9月末	256,873	460	1,402	1,649
	26年3月末	273,475	362	1,261	1,729
その他金融	25年3月末	7,264	-	-	-
	25年9月末	8,031	-	-	-
	26年3月末	8,915	-	-	-

(注) 信託勘定を含んでおります。

(4) 生活密着型ローン残高【単体】

(単位:百万円)

	26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
生活密着型ローン残高	528,825 (529,835)	33,249 (33,002)	20,103 (19,980)	495,575 (496,832)	508,721 (509,854)
うち住宅ローン残高	464,112 (464,633)	31,382 (31,283)	18,025 (17,982)	432,730 (433,349)	446,087 (446,651)
うちその他ローン残高	64,712 (65,202)	1,867 (1,718)	2,078 (1,998)	62,844 (63,483)	62,633 (63,203)

(注) () 書きは信託勘定を含んでおります。

(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率【単体】

(単位:百万円,%)

	26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
中小企業等貸出残高	1,068,993 (1,072,940)	40,818 (39,702)	35,311 (34,669)	1,028,175 (1,033,238)	1,033,682 (1,038,270)
中小企業等貸出比率	85.69 (85.73)	2.17 (2.15)	0.42 (0.41)	83.52 (83.58)	85.27 (85.32)

(注) () 書きは信託勘定を含んでおります。

10. 信用保証協会保証付融資【単体】

(単位:百万円)

	26年3月末	25年3月末	25年9月末
信用保証協会保証付の融資残高	66,043	71,971	67,789
うち特別保証枠分	21	51	46

11. 系列ノンバンク向け融資残高【単体】

(単位:百万円)

26年3月末	25年3月末	25年9月末
12,603	11,968	12,182

12. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

		26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
			25年3月末比	25年9月末比		
預金	(末残)	1,687,598 (1,755,149)	△ 25,970 (△ 34,719)	△ 17,130 (△ 21,760)	1,713,568 (1,789,869)	1,704,729 (1,776,910)
	(平残)	1,673,640 (1,745,685)	39,448 (39,159)	△ 7,781 (△ 9,688)	1,634,192 (1,706,525)	1,681,421 (1,755,373)
貸出金	(末残)	1,247,454 (1,251,418)	16,450 (15,215)	35,304 (34,550)	1,231,003 (1,236,202)	1,212,149 (1,216,867)
	(平残)	1,197,398 (1,202,024)	48,647 (47,289)	10,749 (10,449)	1,148,750 (1,154,734)	1,186,648 (1,191,575)

(注) () 書きは信託勘定を含んでおります。

13. 個人、法人預金の種類別内訳 (平残) 【単体】

(単位:百万円)

種類	26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
個人預金	1,124,231	24,182	4,007	1,100,049	1,120,224
流動性預金	541,377	42,648	11,009	498,728	530,367
定期性預金	582,854	△ 18,466	△ 7,001	601,321	589,856
法人預金	479,571	38,412	△ 554	441,159	480,126
流動性預金	259,777	18,416	1,758	241,360	258,019
定期性預金	219,794	19,995	△ 2,312	199,798	222,107

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 法人預金には、公金預金及び金融機関預金は含んでおりません。

IV. 業績予想等

1. 平成27年3月期通期の業績予想 【単体】

(単位:百万円)

	27年3月期予想	26年3月期実績
経常収益	36,400	37,159
経常利益	9,200	8,562
当期純利益	5,700	4,596
業務純益	10,500	9,487
業務純益(一般貸引繰入前)	10,400	10,127
除く国債等債券関係損益	10,200	10,186
不良債権処理額	1,700	2,222

(注) 不良債権処理額には、信託勘定を含んでおります。

○ 業務純益について 【単体】

(単位:百万円)

	一般貸引繰入前		一般貸引繰入後	信託勘定償却前業務純益		
	除く債券損益			一般貸引繰入前	除く債券損益	一般貸引繰入後
25年3月期	10,991	10,267	11,059	11,048	10,324	11,116
26年3月期	10,127	10,186	9,487	10,127	10,186	9,487
25年9月期	4,648	4,897	4,090	4,648	4,897	4,090
27年3月期予想	10,400	10,200	10,500	10,400	10,200	10,500
26年9月期予想	5,100	4,900	5,100	5,100	4,900	5,100

2. 人員と店舗の状況 【単体】

(1) 人員

(単位:人)

	26年3月末	25年3月末比		25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
在籍行員数	1,100	△ 7	△ 36	1,107	1,136

(2) 店舗

(単位:店舗)

	26年3月末			25年3月末	25年9月末
		25年3月末比	25年9月末比		
店舗数	65 (4)	0 (0)	0 (0)	65 (4)	65 (4)

(注)店舗数には出張所も含めております。()は出張所数です。

3. 保有株式について【単体】

(1) 保有株式

(単位:百万円)

	取得原価ベース	時価ベース	Tier I
25年3月末	17,338	20,940	-
25年9月末	15,768	20,894	-
26年3月末	16,573	21,591	-

(2) 減損処理について

(単位:百万円)

	株式等関係損益	
		うち減損処理額
25年3月期	△ 549	35
26年3月期	1,032	1

4. 不良債権について【単体】

(1) 処理損失

(単位:百万円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額 (銀行勘定)	③不良債権処理額 (信託勘定)	総与信費用 ①+②+③
25年3月期	△ 68	1,641	56	1,630
26年3月期	640	2,222	-	2,862
25年9月期	558	1,014	-	1,572

(注)②不良債権処理額(銀行勘定) = 個別貸倒引当金繰入額、貸出金償却、債権売却損などの合計

(2) 残高

(単位:百万円)

	自己査定				
	破綻・実質破綻先 ①	破綻懸念先 ②	破綻懸念先以下 ①+②	要注意先 ③	計 ①+②+③
25年3月末	10,965	6,456	17,421	169,336	186,758
25年9月末	10,172	7,265	17,438	165,595	183,033
26年3月末	9,939	8,242	18,182	161,319	179,501

	金融再生法基準	
	要管理債権 ④	計 ①+②+④
25年3月末	3,078	20,500
25年9月末	4,540	21,979
26年3月末	3,614	21,797

(注)信託勘定を含んでおります。

(3) 最終処理と新規発生

a. 残高について

(単位:百万円)

	破産更生等債権	危険債権	合計
25年3月末	10,965	6,456	17,421
25年9月末	10,172	7,265	17,438
26年3月末	9,939	8,242	18,182
25/3→26/3新規増加	1,776	4,890	6,666
25/3→26/3オフバランス化	3,568	2,337	5,905
25/3→26/3増減	△ 1,026	1,786	760
25/9→26/3新規増加	1,485	2,679	4,164
25/9→26/3オフバランス化	1,953	1,467	3,421
25/9→26/3増減	△ 233	977	743

(注)信託勘定を含んでおります。

b. オフバランス化の内訳

(単位:百万円)

	26年3月期実績	25年9月期実績	25年3月期実績
清算型処理	-	-	-
再建型処理	-	-	-
再建型処理に伴う業況改善	-	-	-
債権流動化	111	111	-
RCC向け売却	-	-	-
直接償却	1,313	590	1,720
その他	4,481	3,785	5,697
回収・返済	3,298	2,860	4,051
業況改善	1,183	925	1,646
合計	5,905	4,487	7,418

(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率

		26年3月末		25年9月末		25年3月末	
実質破綻・破綻先債権	無担保部分の	100.00%	46億円	100.00%	49億円	100.00%	49億円
破綻懸念先債権	無担保部分の	78.55%	20億円	65.11%	12億円	56.80%	9億円
要管理先債権	債権額の	8.41%	3億円	11.52%	6億円	8.62%	3億円
その他要注意先債権	債権額の	1.93%	30億円	1.70%	27億円	1.51%	25億円
正常先債権	債権額の	0.01%	1億円	0.00%	0億円	0.00%	0億円

(注)平成26年3月末のその他要注意先債権における債務者のうち、資本的劣後ローン(DDS)への転換先については18億円を引当処理しております。

(5) 不良債権比率(金融再生法基準)

(単位:%)

	24年3月末	24年9月末	25年3月末	25年9月末	26年3月末
単体ベース	1.63	1.62	1.64	1.78	1.72
連結ベース	1.73	1.72	1.72	1.85	1.78